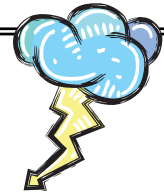


●ニュース
まち育て学習会
助成金セミナー
開催!

いた便り No. 10

2007. 7. 1



岡崎まち育てセンター・りたは、市民活動を応援します。



行 動 指 針

6月は沢山のニュースがありました。

6月3日(日)13:00より、岡崎市北部地域交流センター・なごみん防災活動室にて『りたビジョン会議』が開催されました。地域団体、市民団体に対してどのような支援をしていくか、成果目標をどう考えるのか、について熱い議論が交わされました(詳細は2Pを参照)。

人事院初任行政研修(金融庁、文部科学省、経済産業省の新人研修)の受け入れ、FMおかざき出演、愛知学泉大学コミュニティ政策研究所のヒアリング対応など、PRの機会に恵まれました。

また、福祉系の市民活動立ち上げ相談、近隣地区の住民参加まちづくりに関する相談など、まち育て相談の件数も増える傾向にあります。



総代会の皆様、学区社会教育委員会の皆様にご協力いただき、「(仮称)岡崎まち育て基金」に向けた意識アンケートも集計されましたので、ご報告させていただきます(3Pを参照)。

7月は、全国のまち育てを学ぶ勉強会、助成金のとり方講座など、りた会員の皆様にお得な企画もあります。是非ご参加を!(4P参照)



会員紹介 〈岡崎文化協会〉

昭和50年12月5日に設立し、現在147団体 会員数約12,800名が加盟しています。美術部会、文化部会、芸能部会の3部会から成り立ち各行事を開催しています。

この7月には芸能部会に加盟する邦楽部門の発表会である文協芸能祭の開催と岡崎文化協会の機関紙「岡崎文化30号」の発刊を予定しています。

また、11月には12年ぶりに岡崎での開催となります「愛知県民茶会(三河部)」が岡崎中央総合公園にて開催されます。三河の文化協会が参加し、全19席の茶会を設けます。

皆様、この機会にぜひ、ご来場、ご高覧下さい。

☆第16回文協芸能祭☆

日 時 平成19年7月8日(日)午前10時～

場 所 岡崎市せきれいホール

内 容 岡崎文化協会に加盟する邦楽団体発表会
(日舞、箏曲、尺八、民謡、民踊、大正琴、
琵琶、詩吟、吟剣詩舞、剣詩舞、小唄、長唄)

入 場 料 500円

☆岡崎文化第30号☆

発 売 平成19年7月20日ごろ

販売場所 岡崎文化協会事務局、市内本屋等

金 額 千円(税込)

内 容 岡崎文化協会に加盟団体の、岡崎市の文化活動や話題の文化人の紹介など内容は濃いものとなっております。

☆平成19年度 愛知県民茶会(三河部) ☆

日 時 平成19年11月11日(日)

場 所 岡崎中央総合公園 体育館アリーナ、
武道館アリーナ

茶 券 前売茶券(2席800円 当日茶券1席500円)

いずれの催しも詳しくは下記までお問合せ下さい。

岡崎文化協会事務局(岡崎市役所文化国際課内)

TEL23-6432



岡崎まち育てセンター・りた

団体会員(年会費10,000円)

個人会員(年会費3,000円)

☆ご推薦の団体などお心当たりがありましたらご連絡ください。

事務局(Tel 0564-45-4560)

会員募集中です!



いたビジョン ～5年後、10年後の岡崎と「いた」の姿を構想～

岡崎まち育てセンター・りたの更なる成長を目指し、りたの現状を把握し、今後の展望を構想するため、平成19年6月3日（日）に会員有志及び事務局（計14名の参加）により、りたビジョン会議が開催されました。結果、「地域団体（地縁型のコミュニティ）」と「市民活動団体（テーマ型のコミュニティ）」への支援方針と、りたの組織力向上に向けた行動指針として整理されました（下記）。

1. 地域団体への支援指針

1-1. 現状：実態調査

地域活動の資金に関するアンケートの実施。地域交流センターの管理運営を行っています。

1-2. 短期計画：参加型手法の普及

地域のニーズ把握支援、地域活動への住民参加呼びかけの支援、学区新聞づくり等、情報循環の支援を行います。

1-3. 中長期計画：地域内分権の推進

小学校区の自律的マネジメント力を高め、東西南北の地域交流センターを、市内それぞれのエリア単位の支援拠点とする。地域の50%の人が、地域の運営に関われる状況を目指す。

2. 市民団体への支援指針

2-1. 現状：実態調査

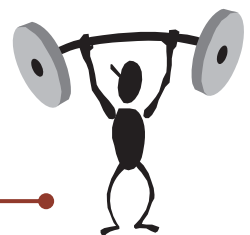
地域とのつながりに関するアンケートの実施。（仮称）岡崎市図書館交流プラザ・Libra事業との連携を図っています。

2-2. 短期計画：市民団体の研修

社会貢献的市民団体の交流会、組織力向上のためのセミナーを実施し、市民活動センター（Libra内）の構想と具体化を行います。

2-3. 中長期計画：事業型NPOの育成

自律的マネジメント力を高め、公共的活動の受け皿となる団体の育成を行い、委託事業を受けられるような団体を10生み出すことを目標とします。



3. いた組織力の強化指針

3-1. 現状：スタッフの養成

専従スタッフの雇用と育成を行っています（事務局：専従スタッフ5名、ボランティア6名／事業スタッフ：パートタイムスタッフ15名、外部専門スタッフ3名、ボランティア20名強）。

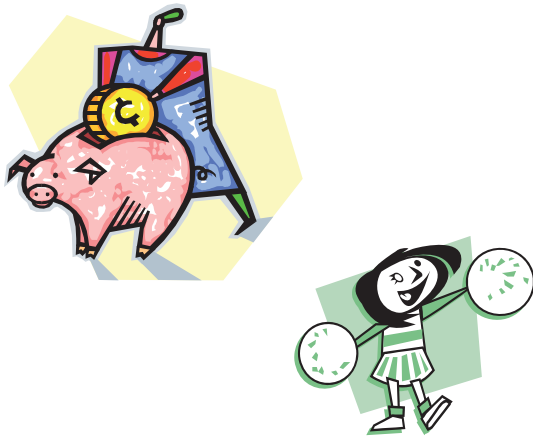
3-2. 短期計画：りた会員のネットワーク

りた事業を分かりやすくPR（機関紙、HP）し、りた会員に部会活動への参加呼びかけ、理事とのつながりを強化していきます。

3-3. 中長期計画：推進力の形成

「全国に向けた情報発信力」、「どっしりとした事務局の確立」「強いリーダーシップの発揮」が可能になるよう努めます。

地域の活動資金提供システム ～岡崎まち育て応援基金(仮)を構想～



町内会などの生活居住区を中心とした自主的な「まち育て」活動の重要性を見直し、市民および市民団体、企業、行政の協働によるまち育てを推進するための仕組みの必要性を再確認して、**地域の活動資金の提供システムを構築しよう**と、りた では「岡崎まち育て応援基金(仮)」を構想しています。まずは地域活動の資金調達の現状を知るため、総代 525 名、学区社会教育委員長 50 名の方々に協力いただき、「地域活動の資金に関するアンケート」を実施しました。

<アンケート概要>

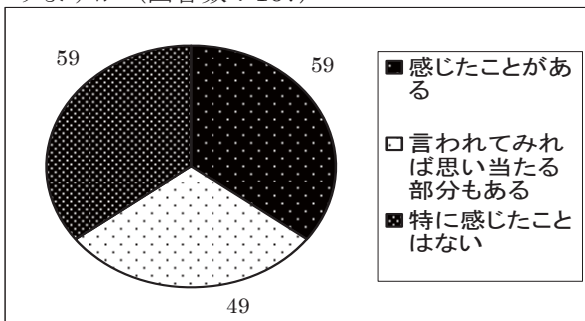
調査項目：地域活動の資金調達の実態、補助金の必要性に関する意識を調査する。

実施対象と時期：総代 5月25日 (回収率 25.52% [134/525名*])

学区社教委員長 5月28日 (回収率 70.21% [33/47名]) * 6月20日現在

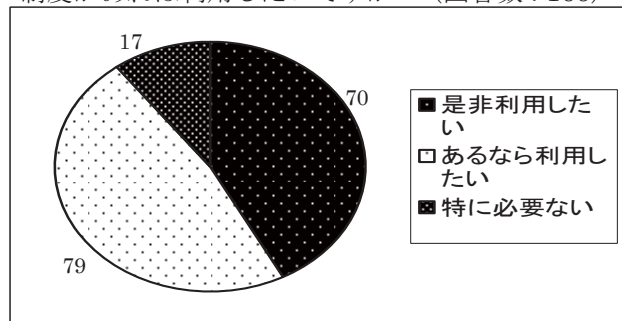
<アンケート結果(抜粋)>

Q.使用目的がスポーツや敬老会のみに限定されていない補助金があればと感じたことはありますか(回答数:167)



→ 6割強が用途を制限されない補助金利用に肯定的

Q.ある程度地域の裁量に使い方が任されるような、まちづくりのための地域活動に対する補助金制度があれば利用したいですか(回答数:166)



→ 9割弱がまちづくりのための補助金活用に積極的

【参考：他地域のまちづくり応援基金の取り組み】

大阪コミュニティ財団 (1991年設立)	・出資者の志に応じ、「地域社会」のために運用される「基金の集合体」 ・大阪商工会議所が米国の先進事例を研究し設立された日本唯一のコミュニティ財団
世田谷まちづくりファンド (1992年設立)	・全国に先駆けて始まった、まちづくりの市民参画型ファンド
函館からトラスト (1993年設立)	・市民グループがトヨタ財団から得た研究奨励金2000万円を基に設立 ・超低金利(0.25%前後)の現在、公益信託+募金で運用
高知市まちづくりファンド (2003年設立)	・高知市が3000万円出資し設立、市民の自主的なまちづくり活動を支援
京町屋まちづくりファンド (2005年設立)	・京町家の保全・再生・活用を推進するための基金 ・(財)京都市景観・まちづくりセンターが設立

★まち育て応援基金(仮)の運用にあたり、りた では自販機収入の公益利用を検討しています。



『組織の社会的責任とは・・・』

～岡崎の企業の社会的責任（CSR）への取り組み～（前編）』

我々“りた”は、NPO法人を設立した当初より、小学校区を中心とした地縁組織やテーマ型で活動を行う市民団体等の支援を行ってまいりました。又、時には行政とも対等な立場で今後の市政について熱く語り合っていました。

このコラムを通じて、「まちづくり」を「まち育て」と置き換えて表現する、つまり「まちをつくる」のではなく、「まちを育てる」という発想についても同時に少し考えていただければと思っています。

さて、市民・市民団体・企業・行政の連携や協働によるまち育てを考える上で、今回は企業によるまち育て「CSR（Corporation Social Responsibility）、企業の社会的責任」について考えてみたいと思います。

最近マスコミを賑わした、国内の企業の不祥事を思い出してみましよう。昨年からだけでもあらゆる業種の企業で常に暇がないほど続出しています。不二家の期限切れ牛乳を使った洋生菓子製造が発覚。関西テレビの生活情報番組「発見！あるある大辞典Ⅱ」で、番組内の「納豆ダイエット」をめぐるデータ偽造が発覚。ついに同人気番組の放送打ち切りになりました。その他ライブドアも粉飾決算疑惑から始まり、証券取引法違反で前社長をはじめとする役員逮捕がありました。堀江氏の逮捕は、新しい時代に希望を見出そうとする多くの青少年にとって誠に残念かつ悲しむべき出来事でした。こうした事態に対して我々はどう対処すべきでしょうか。（次号に続く）

岡崎まち育て情報

…岡崎市内各所のまち育て活動を支援し、市民と行政の対話を促進しています。

① 「第1回まち育て勉強会

トラブルをエネルギーに変えるまち育て」

日時：7月3日（火）19:00～20:30

場所：岡崎市福祉会館301

主催：りた・自治支援部会

内容：延藤安弘氏（NPO法人まちの縁側育み隊理事長、愛知産業大学大学院教授）をお招きして、全国各地の先進的なまちづくり活動を学びます。参加費は、りた会員無料、一般500円です。

② 「協働の仕組みを考える市民会議」

日時：7月12日（木）18:00～20:00

場所：岡崎市福祉会館301

主催：市民協働推進課事業推進班

内容：市民協働条例の策定に向けて、条文内容を話し合います。岡崎に相応しい市民協働の理念、方法について議論します。

③ 「岡崎市市民協働事業・募集説明会」

日時：7月28日（土）14:00～

場所：コミュニティサテライトオフィス

主催：市民協働推進課市民協働班

内容：事業例を紹介し、具体的な協働事業のイメージや応募書類記入のポイントについての説明が行われます。

④ 「NPO助成申請の心得と書き方講座」

日時：7月31日（火）9:30～12:00

場所：なごみん第2活動室

主催：りた

内容：NPO助成財団の職員（日本財団・荻上氏）をお迎えして、助成金申請書の書き方を学びます。参加費は、りた会員無料、一般500円です。



7月22日より受付開始（先着30名）。

事務局
より

りたビジョンの
具体化に向けて
着実に進めます。

〒444-2147 岡崎市西蔵前町字季平45-1
岡崎市北部地域交流センター・なごみん内
NPO法人岡崎まち育てセンター・りた事務局
☎(0564) 45-4560 Fax(0564) 45-4560